



授乳もらくらく・ママのつよい味方



哺乳びんウォーマー

Baby Bottle Warmer



HR-BW302

取扱説明書

日本国内専用
FOR USE IN JAPAN ONLY

ご使用になる前に

この取扱説明書（保証書付）を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

お買い上げいただきありがとうございます。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、
大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合
が生じたとき、きっとお役に立ちます。



202108

目次

■安全にご使用いただく為に.....	2 ~4	■残り湯をすすげる.....	11
■各部の名称.....	5	■各機能の温度について.....	11
■本体の準備.....	6	■お手入れ.....	12
■調乳の使い方.....	6	■よくある質問(Q&A).....	12
■温乳の使い方.....	7	■故障かなと思ったら.....	13
■加熱の使い方.....	8	■仕様.....	13
■解凍の使い方.....	9	■保証とアフターサービス.....	14
■消毒の使い方.....	10	■保証書.....	16

安全にご使用いただく為に

商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1: 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止 ⊘ は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示 ● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意 △ は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

警告

分解禁止 分解・修理・改造はしない
感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止 本体を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

水ぬれ禁止 水に浸けたり、水をかけたりしない
流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の原因になります。

禁止 哺乳びんウォーマーを転倒させない
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

禁止 空だきはしない
火災・故障の原因になります。

禁止 満水(MAX)表示以上の水を入れない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁止 コードの電源プラグが傷んだり、コンセントの差込が緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

安全にご使用いただく為に

警告

禁止 水以外のものを入れたり、沸かししたりしない
泡立ちが起こり、内容物がふき出して、やけどの恐れがあります。内容物の焦げつきや腐食することがあります。

禁止 次のような場所には置かない
●風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
●雨、きりなどが直接入り込むような場所
●火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
●ほこり、油煙の多い(調理場など)場所
●振動の強い場所
●腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
●極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
●ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

禁止 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

禁止 丸洗い禁止
本体の丸洗いは絶対にしない。

ほこりをとる 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

つぎのことを守る 電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る
●傷つけない ●延長するなど加工しない
●加熱しない ●引っ張らない
●重い物を載せない ●はさんだりしない
●無理に曲げない ●ねじらない
●束ねたりしない
守らないと、火災・感電の原因となります。

確実に差し込む 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

プラグを抜く 落としたり、強い衝撃を与えて破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

プラグを抜く 内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

必ず実施 異常・故障時には直ちに使用を中止する
そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。
●差込みプラグ・コードが異常に熱くなる
●コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
●本体が変形したり、異常に熱くなる
●本体から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
●本体の一部が割れたり、緩みやがたつきがある

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

安全にご使用いただく為に

⚠️ 注意



接触禁止

ふたを開けるときの、出る蒸気に触れないやけどの恐れがあります。



禁止

熱源のそばで使用しない
火災・故障の原因になります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部に触れないやけどの恐れがあります。



プラグを抜く

使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉つまみに触れない
ふたが開いて、けが・やけどの恐れがあります。



必ず実施

お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。



禁止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



必ず実施

差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。



必ず実施

コード・差し込みプラグが破損した場合には、危険が生じることのないように、製造者もしくはその代理店に交換を行ってもらうこと



禁止

湯沸かし中は、湯を注がない
湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

お願い

落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない
故障・破損の原因になります。

キッチン用収納棚などの上で使用する場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する
変色・変形の原因になります。

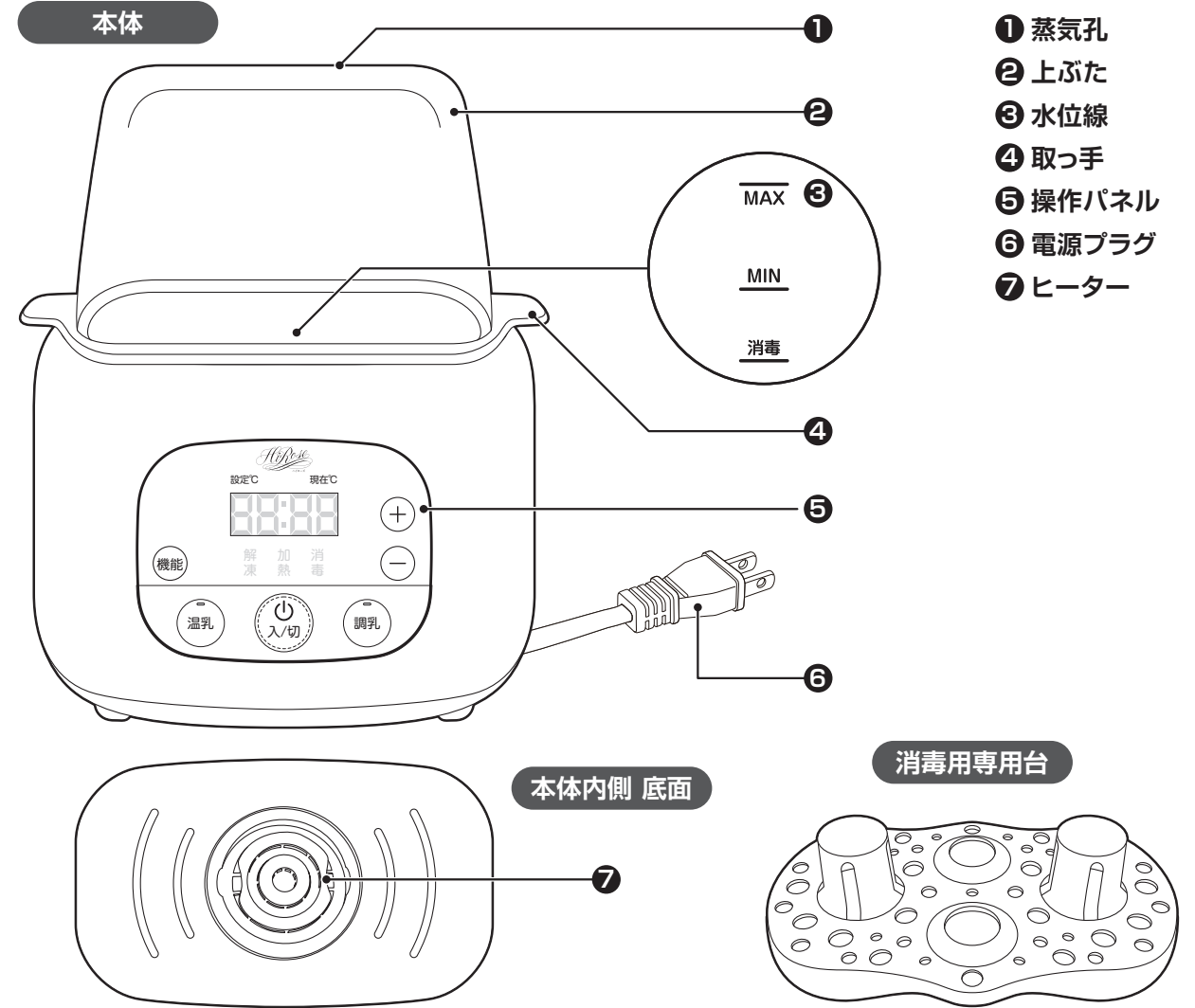
他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

凍結する恐れのある場所に放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる
凍結による故障の原因になります。

本体を引きずって移動しない
机などに傷がつく恐れがあります。

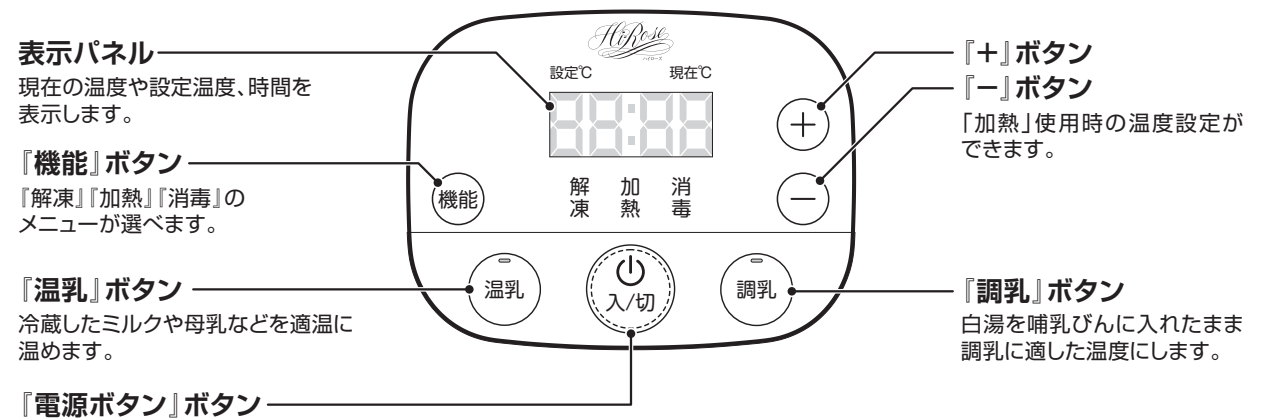
操作部には水がかからないように注意する
故障の原因になります。

各部の名称

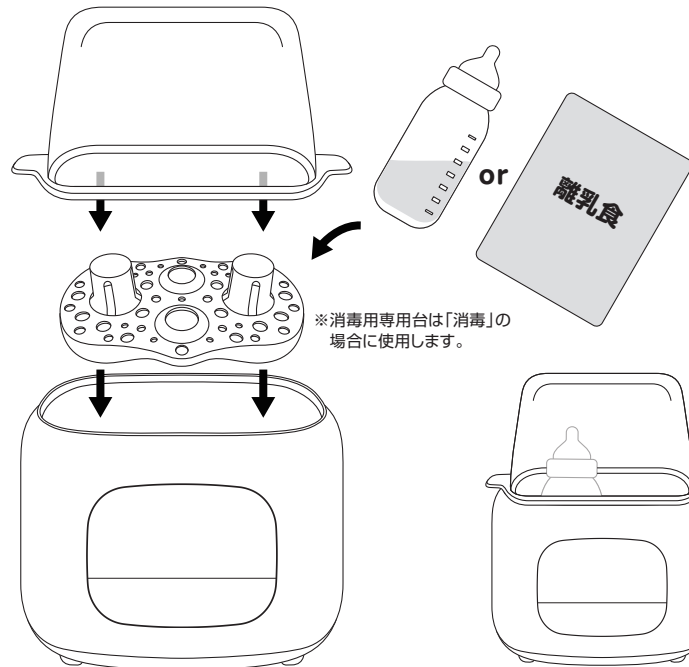


- ① 蒸気孔
- ② 上ぶた
- ③ 水位線
- ④ 取っ手
- ⑤ 操作パネル
- ⑥ 電源プラグ
- ⑦ ヒーター

操作パネルの説明



本体の準備



- 水平な場所に本体を置きます。「消毒」として使用する場合は消毒専用台を突起を上にした状態でセットしてください。
- 電源プラグは電源を入れる直前にコンセントに差し込んでください。
- 使用しない時はコンセントから電源プラグを抜いてください。

注意

- 哺乳びんをヒーターの真上に置かないでください。

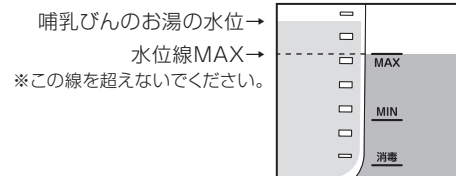
調乳の使い方

白湯を哺乳びんに入れたまま調乳に適した温度にします。

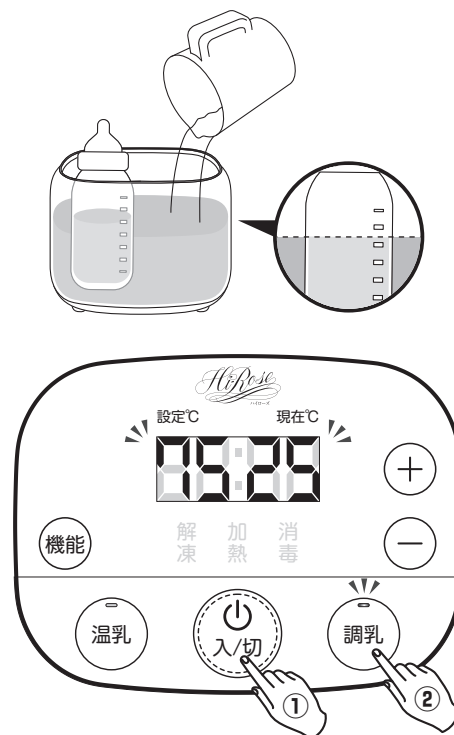
※お湯は必ず沸騰させたものをご使用ください。

- 上ぶたをとり、沸騰させたお湯を入れた哺乳びんをセットし、哺乳びんのお湯の高さに合わせて*水を入れます。

※哺乳びんのお湯が水位線MAXを越える場合は、水の量はMAXに合わせてください。



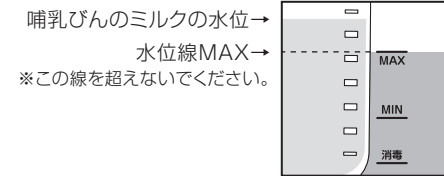
- 上ぶたを閉めます。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、①「入/切」ボタンを押して電源を入れ、②「調乳」ボタンを押します。パネルには現在の水温と設定温度の75℃が表示されます。
- 「調乳」ボタンのランプが5回点滅し、自動的にスタートします。
- 調乳保温は24時間後に自動的に切れます。



温乳の使い方

冷蔵したミルクや母乳などを適温に温めます。

- 上ぶたをとり、ミルク・母乳などの入った哺乳びんを左側にセットし、哺乳びんのミルクの高さに合わせて*水を入れます。
※哺乳びんのミルクが水位線MAXを越える場合は、水の量はMAXに合わせてください。



- 上ぶたを閉めます。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、①「入/切」ボタンを押して電源を入れ、②「温乳」ボタンを押します。
- 「温乳」ボタンのランプが5回点滅し、自動的にスタートします。パネルに設定温度と現在温度が表示されます。現在温度は容器内の水温で、哺乳びん内の温度ではありません。哺乳びん内が適温になるまでの時間は下表をご参照ください。

ミルク容量	プラ哺乳びん	ガラス哺乳びん
80mL	約8分	約7分
120mL	約11分	約10分
160mL	約13分	約12分
200mL	約14分	約14分

※水温20℃の場合。
※水温の差により多少のズレがあります。

- ミルクを長時間加熱すると雑菌の繁殖につながるため、1時間後に自動的に切れます。
- 15分以上の加熱はお避けください。
- 飲み残したミルクを再び加熱しないでください。

注意

- 飲ませる前に必ず温度を確かめてください。
- 体温くらいの温度まで冷ましてください。ミルクの温度は腕の内側に落として、やや熱く感じる程度が適当です。

加熱の使い方

離乳食(レトルトパック)などを温めるときに使います。

- 上ぶたをとり、本体内側にある目盛の「MIN」と「MAX」の間に合わせて水をいれます。
- 温めたいものを入れて上ぶたを閉めます。
- 電源プラグをコンセントに挿し込み、①「入/切」ボタンを押して電源を入れ、②「機能」ボタンを押して「加熱」を選択し点灯させます。
パネルには現在の水温と設定温度の55℃が表示されます。
③「+」ボタンと④「-」ボタンで37℃～65℃で温度を調整できます。
- 「加熱」ランプが5回点滅し、自動的に加熱が開始されます。
- 1時間後に自動的に切れます。



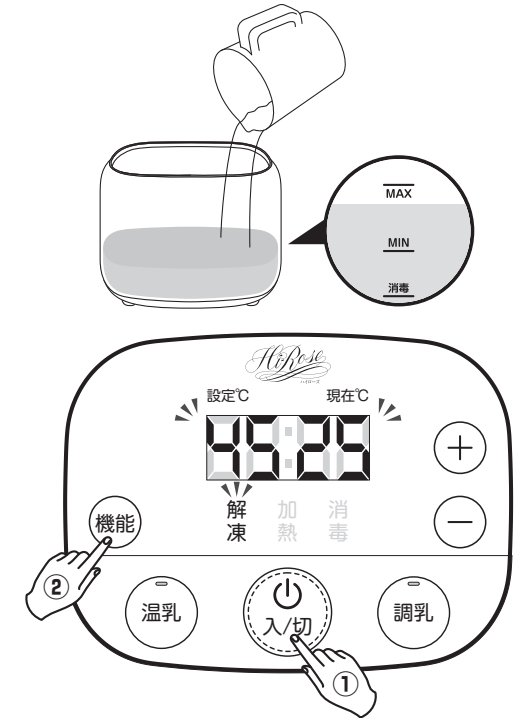
注意

- 各離乳食の包装に記載されている使用方法をご確認のうえ、ご使用ください。

解凍の使い方

冷凍したミルクや離乳食を解凍するときに使います。

- 上ぶたをとり、本体内側にある目盛の「MIN」と「MAX」の間に合わせて水をいれます。
- 解凍したいものを入れて上ぶたを閉めます。
- ①「入/切」ボタンを押して電源を入れ、②「機能」ボタンを押して「解凍」を選択し点灯させます。
パネルには現在の水温と設定温度の45℃が表示されます。
- 「解凍」ランプが5回点滅し、自動的に解凍が開始されます。
- 1時間後に自動的に切れます。



注意

- 解凍したものを与える前に必ず温度を確かめてください。

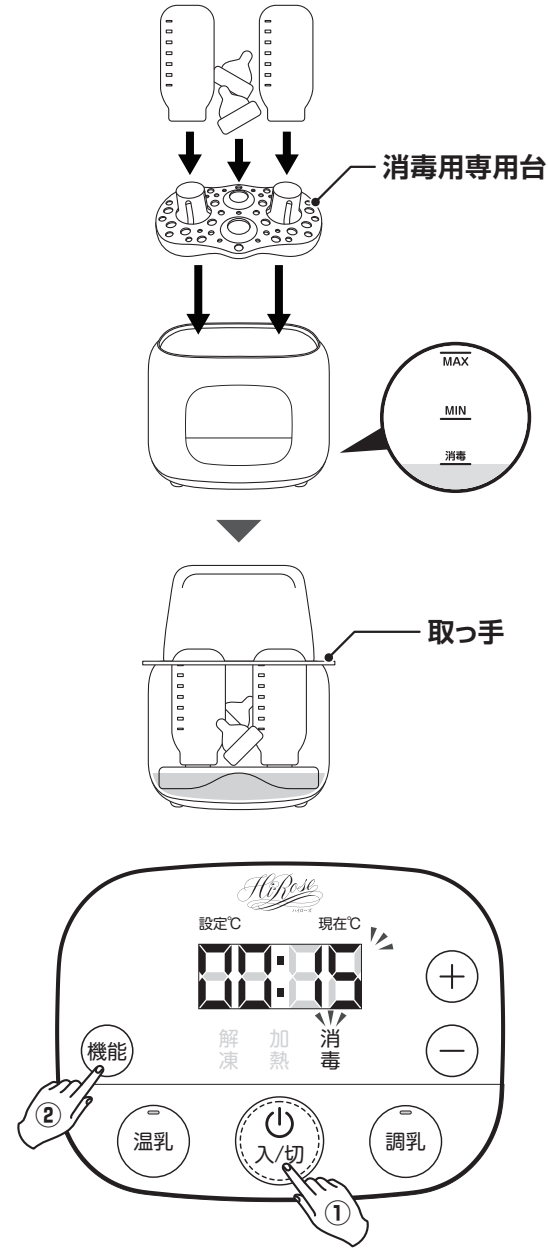
消毒の使い方

哺乳びんなどの消毒ができます。

- 上ぶたをとり、専用台の突起を上にしてセットし、本体内側にある目盛の「消毒」に合わせて水をいれます。
- 哺乳びんを逆さまにして専用台の突起にかぶせ、乳首やそのほかの付属品などは隙間にいれて上ぶたを閉めます。
- 電源プラグをコンセントに挿し込み、①「入/切」ボタンを押して電源を入れ、②「機能」ボタンを押して「消毒」を選択し点灯させます。
パネルには設定時間の15分が表示されます。
- 「消毒」ランプが5回点滅し、自動的にスタートして設定時間がカウントダウンされます。
- 設定時間の15分後、または水分がすべて蒸発すると自動的に切れます。
- 消毒後、高温になっていますので冷めてから哺乳びんなどを取り出してください。

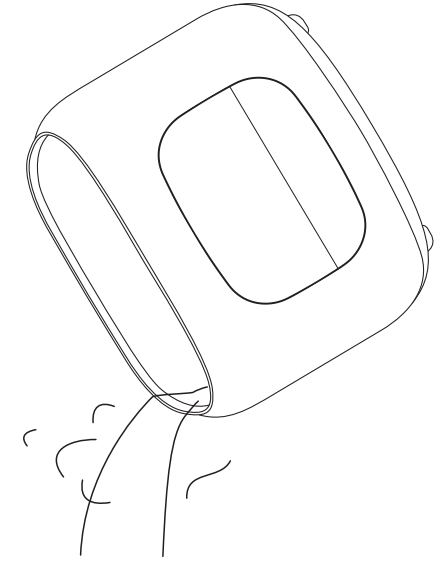
注意

- 100℃の高温で加熱しますので、使用中は蒸気孔や取っ手などに手を触れないでください。
- ご使用前に台をきれいに洗ってください。



残り湯をすてる

- ふたを開け、本体をしっかり持ってシンクなどに残り湯をすてます。
消毒用専用台を使用した場合は、残り湯をすてる前に取り出してください。



注意

- ふたを開けるときは、蒸気口やふたの内部からのしずくが手にかからないようにご注意ください。
- 操作部・本体・本体接続部に湯がかからないようにご注意ください。
- 使用後は残り湯を捨ててください。(水アカ付着防止)
- ぬれた手で差込みプラグ・電源プレート接続部を持たないでください。
- 絶対に本体を水洗いしないでください。

各機能の温度について

「加熱」で使用する場合、温度調整が可能です。

機能	調乳	温乳	解凍	加熱	消毒
温度設定	75℃	45℃	45℃	37-65℃	100℃
時間	24時間後に停止	1時間後に停止	1時間後に停止	1時間後に停止	15分後または水分が蒸発すると停止

お手入れ

お手入れをする前に

- 差込みプラグを抜き、冷えてからお手入れする。
- 水をかけたり、水につけたりして丸洗いはしない。
- スポンジ・布は柔らかいものを使う。

注 意
● 洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。水目盛が傷つく原因になります。
● 食器洗浄機や食器乾燥機などは使わない。
● カラダきによる内側の変色はとれません。

お手入れ方法

本体内側

定期的にクエン酸洗浄をする

下記の症状が出てきた場合クエン酸洗浄をしてください。

- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある。
- 乳白色・灰色などの変色・膜状のものが浮遊している。
- 湯がおお。

(使用される水質や使用回数によって汚れの状態は異なります。)

クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従って洗浄してください。

注 意

- 水はMAX以上入れないでください。(ふきこぼれの原因)
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

本体外側・ふた

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。また、操作部に水をかけないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因になります)

コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

よくある質問(Q&A)

水以外のものを入れてもいいのですか?	水以外は入れないでください。入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。また、本体の故障の原因になります。
毎日湯はかえないといけないうのですか?	1日1回は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、水アカ付着の原因となり、湯沸かし中の音が大きくなります。
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか?	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。

故障かなと思ったら

このようなときは	考えられる原因	ご確認ください
通電しない 電源スイッチが入らない	電源プラグがはずれている。 電源スイッチがしっかり押せていない。 沸とう後すぐに電源スイッチを押している。	電源プラグを差し込んでください。 電源スイッチをしっかりと押してください。 十分に冷ましてからご使用ください。
使用中に湯がふきこぼれる	水を満水表示以上に入れている。	水を満水表示以下に減らしてください。
湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食ではありません。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。
内側に乳白色のザラザラしたものがつく	水の成分(ミネラル分)によるものです。	<p style="text-align: center;">— 水アカ —</p> <p>お使いいただいているうちに、水の中に含まれているカルシウムなどのミネラル分が内容器に付着します。これは「水アカ」と言われるもので、有害ではありません。</p>
内側に赤さび状や灰色の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので内容器の腐食ではありません。	
お湯ににおいがする	本製品のようにプラスチックを使用した電化製品は、一般的にプラスチック部分を温められることでプラスチック特有のにおいを感じる場合があります。その場合、衛生上問題はありません。	

仕様

型名	HR-BW302
定格容量	0.75L
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	200W
コードの長さ	1m
本体寸法	幅200×高さ243×奥行145 (mm)
総重量	約660g

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

